

(基本目標6) 人づくり、参加・協働

1. 環境・SDGs 教育

SDGs とは、“Sustainable Development Goals” の略称で、「持続可能な開発目標」と翻訳されています。2015年9月の国連サミットで採択され、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための2030年までの国際目標です。17のゴールと169のターゲットから構成されており、環境・社会・経済の3つの側面を総合的に解決する考え方が強調されています。

1-1 出前授業・環境講演会など

市では地域や小学校等を対象に出前授業や環境講演会を開催しております。令和4年度は、3回実施し、205名が参加しました。

令和4年度 環境授業・環境講演会実施内容

No.	実施日	対象者	参加人数	テーマ
1	5月11日	越ヶ谷小学校5年生	130	「SDGsについて」
2	7月29日	市職員・市民活動団体等	55	「SDGsについて」
3	2月2日	ライオンズクラブ	20	「SDGsについて」

※上記の他、各小学校で実施している生物多様性子ども調査の授業に、市の職員が参加し、環境サポーターと共に学習支援を行っています。

1-2 越谷生物多様性子ども調査

市内の小学校のビオトープにおいて、平成24年度から始まった越谷生物多様性子ども調査を行っています。越谷市独自の指標生物調査で、子どもたちが学校やビオトープ周辺のトンボの生息状況を調べ、活動を通して越谷市の環境の現状について知り、調査結果を元に生きものにとってやさしいまちづくりについて考えます。令和3年度の調査では越谷市内の小学校で、トンボの成虫が27種、ヤゴが20種確認されました。



1-3 児童館ヒマワリの環境学習事業

児童館ヒマワリのテーマ「生物と環境」には、子どもたちが人と自然の調和や動植物を慈しみ生命を尊重する心を持ち、科学する心を培っていくという願いが込められています。また、こどもエコクラブ活動の推進により、地球環境を保護するなど、環境形成者としての実践力を育成することをねらいとしています。令和4年度末現在、5クラブ714人が登録を行っています。

○主な実施事業

①科学にひたるひととき in越谷 2022

科学に興味をもつ子どもが、大人を含めて楽しめるような本格的な科学教室を開催し、科学に対する興味関心をさらに高めることをねらいとしています。

テーマ	開催日
タネと発芽－タネの標本を作り、タネの発芽を調べよう－	7月22日(金)

②わくわく科学教室

学校では経験できない生物の観察やいろいろな科学実験、自然を生かしたものづくり等を行いながら、自然や環境も含めた様々なことを学び、科学への興味・関心を高めることをねらいとしています。

回	月	日	曜	内 容
①	4月	17日	日	植物で染物に挑戦
②		30日	土	高分子ポリマーの秘密と植物インテリア
③	5月	8日	日	紫外線ビーズストラップとUVレジンのアクセサリ
④		22日	日	メダカの飼い方教室
⑤		29日	日	いろいろなお花のインテリア
⑥	6月	12日	日	ペットボトル水族館をつくろう
⑦		26日	日	カブトムシの飼い方教室 ※定員 10名
⑧	7月	3日	日	昆虫トラップ作戦! ※定員 10名
⑨		10日	日	カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅰ(2回講座) ※定員 10名
⑩		17日	日	金メダル・銀メダル・銅メダルをつくろう
⑪		23日	土	化石のレプリカをつくろう
⑫		24日	日	ミニミニビオトープをつくろう
⑬				いい声で鳴かそう!スズムシ教室
⑭	27日	水	世界のカブトムシとクワガタ	
⑮	8月	21日	日	カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅱ(2回講座) ※定員 10名
⑯		28日	日	昆虫のジオラマをつくろう
⑰	9月	11日	日	いろいろなスライムをつくろう!
⑱	10月	16日	日	科学の不思議『シュワシュワ』バスボム作り
⑲		23日	日	クリスタルソープで宝石せっけんをつくろう!
⑳	11月	23日	水・祝	粉雪の降るスノードームをつくろう
㉑		27日	日	秋の紅葉の和紙づくり
㉒	12月	11日	日	キラキラリースでクリスマスをむかえよう
㉓		18日	日	すてきなクリスマスキャンドルをつくろう ※定員 10名
㉔		24日	土	かわいい加湿器
㉕	1月	14日	土	焼き物にチャレンジⅠ
㉖		15日	日	手作りカイロ
㉗		22日	日	楽しい菌類
㉘	2月	5日	日	アクアリウムで素敵なインテリア
㉙		11日	土	焼き物にチャレンジⅡ
㉚		19日	日	生物標本でアクセサリをつくろう
㉛	3月	5日	日	ペットボトルでセントポーリアを育てよう ※定員 10名

③ヒマワリこどもエコクラブ

米作りを通し、健康・水・生物などの関わりから環境について考え、一人ひとりの環境保全に対する意識を高めることをねらいとしています。また、異なる学校のクラブ員相互の交流を図っています。

(9回実施)

2. 環境・SDGs 活動

2-1 こしがや環境サポーター

市民や団体、教育機関等における環境配慮活動等への協力、支援を進めながら地域における自然環境保全、普及啓発活動を幅広く推進していくため、越谷市では、登録制による「こしがや環境サポーター」制度を平成 27 年度から開始しました。サポーターとして登録された方は、地域や学校などの求めに応じ、環境イベントへの協力や、学校の環境学習への支援を行っています。

令和 4 年度末現在登録数：市民サポーター34 名、学生サポーター0 名、企業サポーター14 社

令和 4 年度活動内容

活動名称	内容	実施日	参加者
特定外来生物防除	クビアカツヤカミキリ勉強会	6 月 20 日	11 名
コシガヤホシクサ栽培への協力	コシガヤホシクサの植替え	6 月 28 日	2 名
フジバカマ保護活動	フジバカマ自生地にて除草作業	7 月 26 日	3 名
オオオナモミ除去活動	葛西用水でのオオオナモミ除去と清掃、キタミソウの観察	10 月 8 日	25 名
コシガヤホシクサ栽培への協力	コシガヤホシクサの種子採取	11 月 16 日	2 名
環境サポーター交流会※	年度事業報告と次年度事業計画説明	2 月 25 日	34 名 14 社
キタミソウ観察会 クリーン作戦	葛西用水での清掃とキタミソウの観察	2 月 25 日	14 名
越谷生物多様性 子ども調査支援	トンボ調査学習支援など	通年	延べ 60 名



キタミソウ保護活動

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による実施

2-2 協働事業

市では、市民団体との協働による活動も推進しています。令和 3 年度は NPO 法人越谷ふるさとプロジェクトと共催で事業を実施しました。

(ア) 川をめぐる子ども体験バスツアー

平成 28 年から越谷市内を流れる川とつながる地域を訪問し、水と自然環境について体験的に学習することを目的に、市内の小学生を対象に「川をめぐる子ども体験バスツアー」を実施しています。令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止になりました。

(イ) 親子ふれあい自然体験教室

令和 3 年度より「自然物を使った工作をすることで、自然の楽しみ方や自然との接し方を深める」、「親子で一緒に作業をすることで、好ましい関係を構築する」、「体験活動を通して、感受性、想像力や表現力を高める」ことを目的に親子ふれあい自然体験教室を実施しています。

○親子ふれあい自然体験教室～自然でオシャレしちゃおう～

日 時：令和4年6月26日(日) 午後1時30分～午後3時

会 場：水辺のまちづくり館大会議室

内 容：ジュズダマとビーズ（プラスチック）そろばんの玉のストラップやブレスレット、どんぐりのストラップ、サバイバルブレスレットの作成

参加者：市内在住の小学生以上の親子6組（計15名）



○親子ふれあい自然体験教室～クリスマスクラフトを作ろう～

日 時：令和4年12月18日(日) 午後1時30分～午後3時

会 場：水辺のまちづくり館大会議室

内 容：木の枝でつくるインテリア、木の枝（輪切り）、松ぼっくりのオーナメント、雪だるま、木の枝で作るミニツリー、ヨシと毛糸のゴッドアイの作成

参加者：市内在住の小学生以上の親子7組（計14名）



○親子ふれあい自然体験教室～ネイチャークラフト～

日 時：令和4年3月19日(日) 午後1時30分～午後3時

会 場：水辺のまちづくり館大会議室

内 容：木を削って自分だけの箸の作成、木の枝でのミニチュア椅子・鉛筆型ストラップ・壁飾り・鍵かけの作成

参加者：市内在住の小学生以上の親子4組（計9名）



2-3 こしがやSDGs パートナー

(ア) 制度の概要

本市では、第5次総合振興計画及び越谷市環境管理計画において、各施策をSDGsの17のゴールと結び付け、連携して展開していくこととしています。

今後更にSDGsの目指す「誰一人取り残さない」持続可能な社会を実現するためには、行政のみならず、本市にかかわる企業や団体、市民一人ひとりと、ともに推進していくことが必要となります。そこで、共に手を携えSDGsの目標の達成や地域課題の解決に向けた取組を推進していくため、令和5年2月1日よりこしがやSDGsパートナー制度を開始しました。企業、NPO、団体、教育機関、個人、行政等が本制度を起点に連携を深め、将来にわたる持続可能なまちを次世代につないでいくため取組を行っていきます。

○こしがやSDGsパートナーの要件

①対象

- ・市内に事業所等を有し、又は市を拠点に活動している企業、団体、教育機関、特定非営利活動法人、その他の団体、又は個人事業主
- ・市内に在住し、在勤し、在学し、又は活動する個人

②応募要件

- ・SDGsの達成につながる取組をしている・する意欲があること
- ・市や他のパートナーとともに、SDGsの達成や地域課題の解決、SDGsの普及啓発に取り組む意欲があること

③パートナーになると

- ・パートナーには、登録証、こしがやSDGs パートナーオリジナルロゴマークの木製SDGs ピンバッジを提供します。(企業には県産木材で作成した木製盾の登録証も発行します。)
- ・パートナーの取組を市のホームページ等でPRします。
- ・パートナー間のネットワークづくりを支援します。
- ・SDGs 関連事業等についての情報提供を行います。
- ・こしがやSDGs パートナーオリジナルロゴマークを使用できます。

※木製ピンバッジ・盾については、森林環境譲与税を活用し作成しています。

○オリジナルロゴマーク

向かい合った2羽のしらこぼとが大空に向かって飛び立つ様子を描き、SDGs に取り組み、市が飛躍していく姿を表現しています。

こしがやSDGs パートナーの登録者については、申し出があればデータを送付し、名刺やホームページなどへの活用することができます。



(イ) 活動実績

○こしがやSDGs パートナー登録者数

こしがやSDGs パートナー登録者数 (令和5年3月末現在)

	登録数	内訳	内訳登録数	合計
企業・団体等	90	企業	75	106
		団体	9	
		特定非営利活動法人	2	
		個人事業主	4	
個人	16			

○こしがやSDGs パートナー 市ホームページ掲載用宣言書

こしがやSDGs パートナー登録者のうち、希望する場合は、「市ホームページ掲載用宣言書」を提出することができます。

提出された宣言書については、市公式ホームページへ掲載を行います。商品名などを掲載することも可能で、各活動のPRに有効に活用いただいています。

こしがやSDGsパートナー 市ホームページ掲載用宣言書	
企業・団体・個人名	該当するゴール
紹介・これまでの活動など	
	今まで力を入れて来たSDGsの活動 これから力を入れていきたいSDGsの活動
所在地: 電話番号:	代表者名: HP:

掲載数：41 (令和5年9月末現在)

〇こしがや SDGs パートナーオープニングイベント

制度の発足を記念し、また、こしがや SDGs パートナー同士の交流の場を設けるためオープニングイベントを開催しました。

日 時：令和 5 年 3 月 18 日(土) 午後 2 時～午後 4 時

会 場：レイクタウン kaze 3F イオンホール

内 容：登録証の交付及び写真撮影、一般社団法人環境パートナーシップ会議副代表理事の星野智子氏による基調講演「～SDGs 時代に求められる行動と連携～」。閉会后、会場を解放しパートナー同士の交流の場を設ける。

参加者：企業 22 (42 人)・団体等 6 (8 人)・個人 3 人・登録前団体 4 (9 人) 計 62 人



市長による登録証の交付



パートナーの集合写真